



〈学校教育目標〉 Oかんがえる子 Oおもいやる子 Oやりぬく子 Oたくまい子

～栃木市内どこからでも通える“ひまわりの咲く”小規模特認校～ 2020.5.11.

大南小だより 5月号 ~Third Stage~

栃木市立大宮南小学校 TEL:0282-22-1483

<https://tm2.tcn.ed.jp/tochigi-ominami/>

日頃の様子をホームページでもご覧ください。

QRコードから、携帯電話やスマートフォンでもご覧いただけます。



O臨時休業へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

「新型コロナウイルス感染症」につきましては、なかなか収束の見通しが立たず、国の緊急事態宣言も、5月31日まで延長になり、学校再開を心待ちにしながらお過ごしのことと思います。保護者の皆様には、この臨時休業期間中、諸通知や課題の引き取りと提出のためにご来校いただき、ありがとうございます。いつ、どこで感染しているか分からないという心配があり、連絡手段が「斉メール」や「電話」になってしまいますが、皆様のご理解とご協力で、ここまで過ぎてまいりました。この後の登校日へのご協力もよろしくお願いいたします。

学校では、再開後の、諸行事の日程を変更したり、内容等を見直したりする準備を進めています。学習の遅れが懸念されますので、配付した課題の他、テレビやインターネット配信される動画等を活用して、少しでも家庭でできる学習に取り組みさせていただきようをお願いいたします。学校でも学習の補填をするためにできるだけ時間を確保していきたいと考えています。そして「こまめに手洗い・うがい」「マスクの着用」「密接・密集・密閉の“3密”を避ける」など、これまでの感染拡大防止策を引き続き取るようにしてまいりますので、ご協力をお願いいたします。

O15名の1年生、入学おめでとうございます！～いろいろなお祝いをいただきました。～



校庭のこぶしや花壇の花がきれいに咲き誇るなか、入学式には15名の新生を迎えることができました。ご入学おめでとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応ということで、ご来賓のご臨席はなくなりました。体育館には、新生とその保護者、関係職員と、在校生は特にかかわりの深い2年生と6年生のみの参列で、式の内容を精選して行いましたが、とても温かい式になりました。

担任の先生から名前を呼ばれると、元気よく「はい。」と返事をすることができ、とても立派でした。

6年生の児童が、在校生の代表で「1年生を迎えることば」を発表し、新生と在校生が向かい合って「よろしくをお願いします。」と挨拶を交わしました。

本校のシンボルである“ひまわり”のように、明るく元気にまっすぐに、そして、たくましく成長することを心から願っています。みんなで一緒に、大宮南小でのたくさんの思い出を作っていきましょう。

1年生へのお祝いとして各種団体様からたくさんの品々をいただきました。皆様方には、いつも温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。大切にさせていただきます。



【寄贈品等】

- 栃木市交通安全協会様…ランドセルカバー
- 栃木市交通安全母の会連合会大宮女性会様…愛の鈴
- 栃木市大宮地区女性会様…ぞうきん
- 大宮地区社会福祉協議会様…連絡帳・連絡袋
- JAグループ栃木様…ランチョンマット
- みずほフィナンシャルグループ様他…黄色いワッペン
- 中村和男様（栃木市都賀町在住）…児童用傘（一人2本）
- アシストネットの皆様…布製マスク（一人1枚）
- 栃木県民生活部くらし安全安心課様…反射材[後日配付]



OPTA総会のご承認をいただき、ありがとうございました。

今年度のPTA総会は、4月24日(金)に予定していましたが、臨時休業期間中であり、“3密”にならないようにとの配慮で、中止とさせていただきます。事前に資料を配付し「さくら連絡網」での議事のご承認にご協力いただき、ありがとうございました。PTA本部役員を始め、監事、学年委員の皆様には大変お世話になります。今後感染症等が落ち着きましたら、今年度もリサイクル活動や奉仕作業、大南祭など様々な行事を計画しています。「子どもたちのために」を合い言葉に、全ての保護者の皆様のご協力をいただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

PTA総会資料P8のとおりご承認いただきました、今年度のPTA本部役員の皆様、1年間、どうぞよろしくお願いいたします。

〇小規模特認校第3ステージ(Third Stage)~本校ならではの取組~

本校のめざす児童像「表現力豊かにだれとでも進んでコミュニケーションをとり、自信をもって行動できる子」の育成のために、本校ならではの特色ある教育を実施してまいります。

本校は、平成24年度から小規模特認校の制度を導入し、小規模校ならではの特色ある学校経営を積極的に推進してきました。(新入生受け入れは平成25年度から)一昨年度から、「小規模特認校-ThirdStage」と位置付け、これまでの取組を再確認しつつ、さらに工夫改善した取組をしてまいります。

①小規模校のメリットを最大化させる方策

- ア つまづきをきめ細かく把握しながら、基礎学力の定着を図ると共に、学ぶ意欲を高めるための「朝の学びタイム」(のびっ子タイム)や「放課後教室」を年間を通じて実施する。
- イ 小学校低学年から英語教育を導入し、「ティーチングプラン」を活用しながら実践する。6年生ではこれまでの英語教育のまとめとして校外学習等での外国人とのコミュニケーションを試みる。
- ウ 家庭学習の充実を図り、基礎学力の定着と学習意欲の向上を目指し、「漢字検定(公益財団法人日本漢字能力検定協会)」を活用、実施する。
- エ ICT機器の活用能力向上を目指した、タブレットPC等を活用した教育の実践及び年間を通じた全校集会の設定(「話そう集会」)により、表現力の向上を図る。
- オ コミュニケーション能力(主に自己表現力)を育成、向上させるため専門家によるコミュニケーション教室等を開催する。
- カ 下野新聞読者登壇「10代の声」作文投稿(高学年)、夏休みなどの様々な作品募集をきっかけとして、表現力を向上させるための指導等を行う。

②小規模校のデメリットを最小化させる方策

- ア 他校との合同授業を継続的・定期的実施したり、他地域の学校との合同授業や合同行事を実施したりして、小規模校で不足しがちな社会性を涵養する機会や多様な意見に触れる機会を創出する。
- イ 「とちぎ未来アシストネット」と連携し、地域の方々から百人一首や茶道、和太鼓などについて学んだり、一緒に活動したりしながら、地域の方々の生きがいづくりに資するとともに、子どもたちに多様な人たちとのコミュニケーションの場の創出を図る。
- ウ 学校運営協議会において、小規模校のメリット、デメリットを協議し、地域との連携のもと小規模校のメリットを生かしたプロジェクトを立ち上げ、協議会委員が中心となる活動等を推進する。

〇幼稚園・保育園の保護者のみなさまへ~本校の「特色ある教育」を公開します~



本校児童の生き生きとした姿をご覧ください。また学校は、いつでもご参観いただけます。諸行事との調整が必要な場合もあるので、事前にお電話ください。TEL:0282-22-1483

第1回オープンスクール

7月4日(土)「水辺の活動」

本校ならではの学校行事「水辺の活動」を行います。学区内の赤湊川に出かけていき、地域の方から自然(植物や生き物)について学んだり、実際に川や水田に入って観察・探索したりします。ご来校の方にも、見学や体験をしながら、本校の児童とともに楽しんでいただく予定です。

※時間や持ち物等の詳細は、別紙のとおりです。

第2回オープンスクール

10月17日(土)「大南祭」

活動内容については、ただ今、計画中です。詳細が決まりましたら、後日お知らせいたします。

どうぞお楽しみに…!!